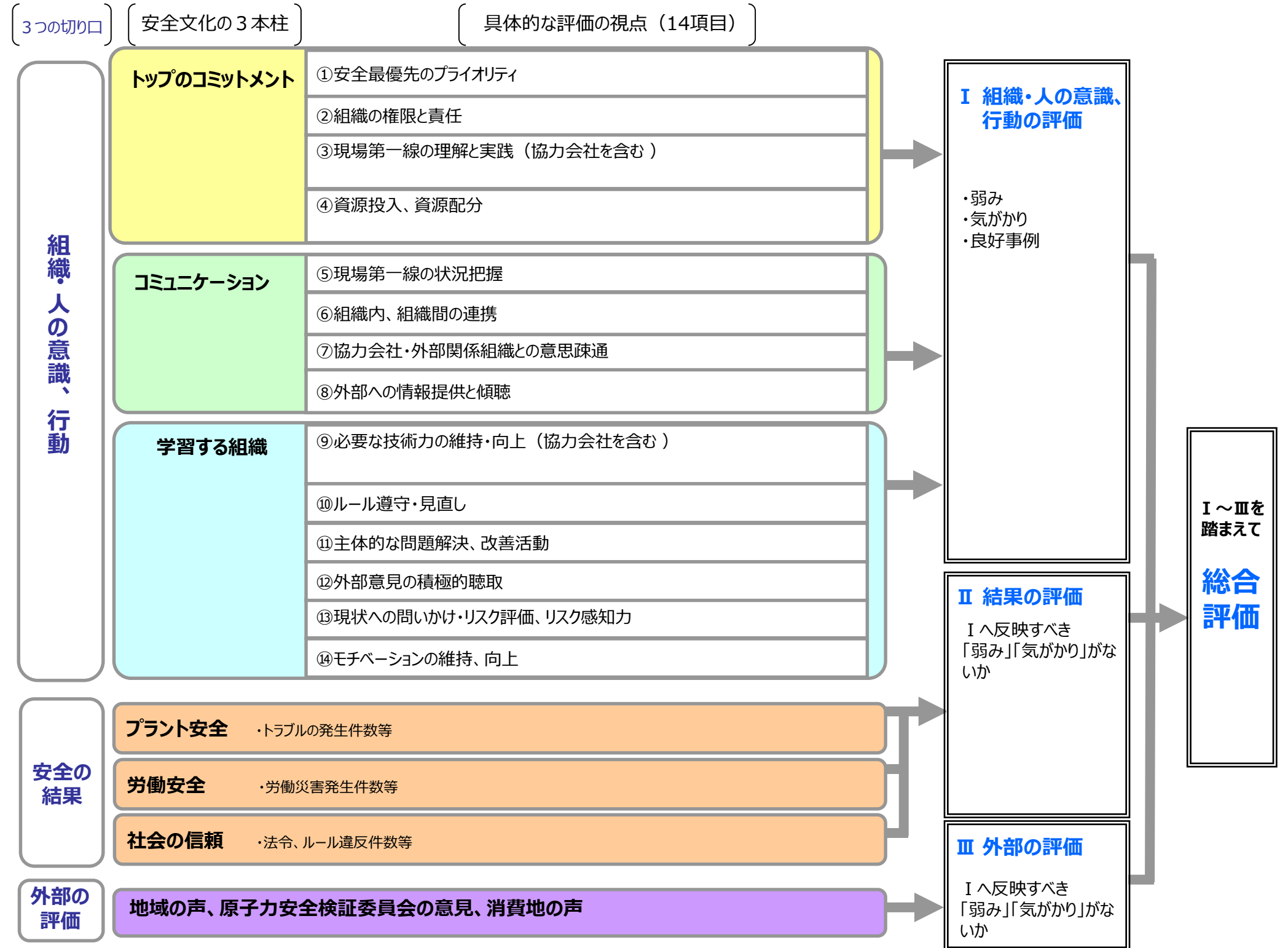


# 平成28年度 原子力部門 安全文化評価の 実施結果について

平成29年6月5日  
関西電力株式会社

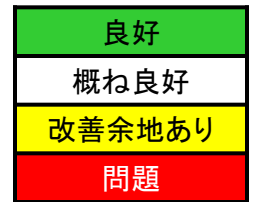
# 平成28年度 安全文化評価結果について

## 安全文化評価の枠組み

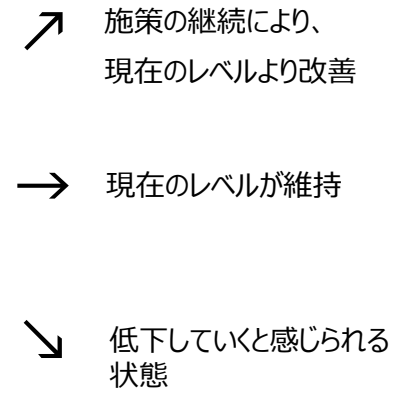


## 原子力部門評価の考え方

①4段階評価  
 インพุット情報に基づき、評価の視点ごとに「あるべき姿」と対比し、次の4段階で評価



②傾向評価  
 2～3年後の状態をベクトルで表示



【課題】  
 「問題」「改善余地あり」と判定した項目、又は傾向評価を「↘」とした項目に対して抽出

【気がかり】  
 今後、推移を見守る必要があると考えられる事項を抽出

## 平成28年度原子力部門評価結果

H29年度の重点施策の方向性

評価の視点		H27年度	H28年度	評価 ●：課題 ◇：気がり	
組織・人の意識、行動	①安全最優先のプライオリティ	良好→	改善余地あり↗	●トップや幹部は、自然環境の変化や新規規制基準対応の大型工事において発生する更なるリスクに対する感受性を高めることも含め、安全最優先の理念を再度明確にする等、安全文化を再徹底していく必要がある。	
	②組織の権限と責任	概ね良好→	概ね良好→	◇新規規制基準対応業務の責任と権限が適切に調整されていくか注視していく。	
	③現場第一線の理解と実践	社員	改善余地あり↗	概ね良好→	◇社達の浸透活動の継続的な実施により、浸透が進んでいくか注視していく。
		協力会社	概ね良好→	概ね良好→	-
	④資源投入、資源配分	改善余地あり→	改善余地あり↗	●各所が抱えている要員に関する問題を踏まえ、要員の再配分等の対策を進めていく必要がある。 ●労基署からの指導を踏まえ、「月間時間外・休日労働80時間超過の原則禁止」等の対策を実施していく必要がある。	
	⑤現場第一線の状況把握	概ね良好→	概ね良好→	◇安全上重要な機器等への影響について所長・安全統括以下にて議論(設備変更管理検討会)、発電所幹部による現場確認等によって、現場の状況の把握が改善していくか注視していく。	
	⑥組織内、組織間の連携	概ね良好→	概ね良好→	◇協力会社アンケートにおける「部署をまたがる問題の調整」に係る否定的な意見を踏まえ、工事等における社内の連携が十分図られているか注視していく。(⑦で対応) ◇日々のミーティングにおける気象情報の周知と現場リスクの議論等によって、リスク情報の共有が図られていくか注視していく。	
	⑦協力会社・外部関係組織との意思疎通	概ね良好↗	改善余地あり↗	●協力会社アンケートの結果を踏まえ、協力会社との意思疎通の更なる改善を図っていく必要がある。 ◇元請会社への適切な処理計画の要求および確認、安全対策の確認・指導等の実施によって、より一層リスク情報の共有が図られるか注視していく。	
学習する組織	⑧外部への情報提供、傾聴	概ね良好→	概ね良好→	◇地元などから、美浜3号機事故再発防止対策の風化防止、自主的かつ継続的な安全性向上対策の推進、廃止措置、40年超運転への対応などに係るご意見をいただいております。これらについては今後とも丁寧な理解活動を行っているか注視していく。(品質保証活動で実施)	
		社員	改善余地あり↗	概ね良好→	◇長期プラント停止中であることを考慮した再稼動に必要な技術力の維持、向上の取組みが継続的かつ実効的に施されていくか注視していく。(品質保証活動で実施)
	協力会社	概ね良好→	概ね良好→	◇プラント長期停止状態においても、協力会社の力量が維持、向上されていくか、引き続き注視していく。	
	⑩ルール遵守・見直し	概ね良好→	概ね良好→	◇新規規制基準を反映した社内ルールについて、実効性があり、運用しやすいルールに見直されていくか注視していく。 ◇協力会社アンケートにおける「当社のルールの運用しやすさ」に係る否定的な意見を踏まえ、十分な対応がなされていくか注視していく。(⑦で対応) ◇暴風、大雨、大雪等の警報時における警戒準備体制の構築が有効に機能するか注視していく。	
安全の結果	⑪主体的な問題解決・改善活動	概ね良好→	概ね良好→	-	
	⑫外部意見の積極的聴取	概ね良好→	概ね良好→	◇外部意見等を自らの業務に照らして捉えなおして、対策につなげることを目指したリスク感受性の向上がなされていくか注視していく。(⑩で対応) ◇地元などから頂くご意見を踏まえて業務にあたっているか注視していく	
	⑬現状への問いかけ・リスク評価、リスク感知力	概ね良好→	改善余地あり→	●原子力に携わる者として、より一層、原子力安全に対するリスク感受性を向上させていく必要がある。 ◇労働安全の課題を踏まえた、各種安全パトロール等の取組みにより、危険感受性が向上していくか注視していく。	
	⑭モチベーション維持向上	改善余地あり↘	改善余地あり↗	●社員のモチベーションを維持・向上していくために、より一層、働き方改革を進めていく必要がある。	
安全の結果	プラント安全	-	→①、⑬	●トップや幹部は、自然環境の変化や新規規制基準対応の大型工事において発生するリスク等も含めた安全最優先の理念を再度明確にする等、安全文化を再徹底していく必要がある。(視点①) ●原子力に携わる者として、より一層、原子力安全に対するリスク感受性を向上させていく必要がある。(視点⑬)	
	労働安全	-	-	◇高浜2号機クレーン倒壊は、重大な労働災害につながる可能性があったことを踏まえ、労働安全の課題を踏まえた各種パトロール等の取組みにより、労働安全に対する危険感受性が向上していくか注視していく(視点⑬)	
	社会的信頼(コンプライアンス)	-	→④	●労基署からの指導を踏まえ、「月間時間外・休日労働80時間超過の原則禁止」等の対策を実施していく必要がある。(視点④) ◇保安規定の監視事項に関しては、暴風、大雨、大雪等の警報時における警戒準備体制の構築が有効に機能するか注視していく。(視点⑩)	
外部の評価	-	→⑬	●高浜2号機クレーン倒壊に関しては、一般の方々にもどのように受け止められるかも踏まえ、原子力安全の周辺にも目配りできるよう、リスク感受性を高めていく必要がある。(視点⑬) ◇地元などから、美浜3号機事故再発防止対策の風化防止、自主的かつ継続的な安全性向上対策の推進、廃止措置、40年超運転への対応などに係るご意見をいただいております。これらを踏まえて業務にあたっているか注視していく。(視点⑧、⑫)		

新規  
社長・幹部からの安全最優先に関する訓示、継続的なメッセージの発信等による安全文化の再徹底

継続  
再稼動に係る業務による職場繁忙に対する健康の維持・管理方針の検討実施

新規  
協力会社アンケート結果を踏まえた、協力会社との意思疎通の更なる改善

新規  
リスクマネジメントの更なる充実

新規  
当社社員・協力会社社員に対するリスク感受性を高めるための教育等の実施

H29年度重点施策の策定  
(重点施策の具体化は次年度計画策定時に実施)

### 総合評価

3つの切り口の評価を総合すると、全体として昨年度と同程度の概ね良好な評価であった。  
また、安全文化を高めていくうえで取り組むべき課題を抽出でき、今後重点的に取り組む必要があることを確認した。